

事業所名	株式会社びゅあはぁーと 憩いの郷 行橋		
開催日時	令和8年1月10日(土) 10:30~11:30		
開催場所	憩いの郷行橋 LDK		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	2名	管理者 サービス管理責任者
	入居者	0名	
	入居者ご家族	1名	
	地域の関係者	1名	区長
	福祉に知見を有する方	1名	相談員
	経営に知見を有する方	1名	住宅型有料老人ホーム代表
	市町村担当職員	0名	
議題	(1) グループホームの現状報告 (2) 地域の関係者に対する障がいの理解の促進 (3) 職員の支援の様子 (4) 施設の行事案内 (5) 近隣からの苦情 (6) 事故ヒヤリハットの報告 (7) アンケート結果・質疑応答		
協議内容・意見等	(1) グループホームの現状報告 部屋数は6部屋。現在6名が入居中(令和7年12月末現在) 日中活動は、A型事業所通所2名、B型事業所通所4名 訪問看護利用者数 6名 (2) 地域の関係者に対する障がいの理解の促進 「障がい」とはどんなものなのか、「障害支援施設」や「共同生活援助」とはどんなところかを知ることができた。今後は地域行事などを通して、事業所と地域が連携していけるのではないかと感じた。今までは利用者と道で会っても挨拶をする関係性でなかったが、この会議を通して顔の見える関係が出来た。これからはお互いに声を掛け合えようと思う。との意見をいただいた。 (3) 職員の支援の様子 土曜日の買い物支援、定期的な外出の把握やサポート 炊事、洗濯、掃除は入居者自身で行い、定期的に職員が部屋を点検し、必要に応じた支援を行っている。緊急時の対応、職場、事業所での困りごと相談等、入居者の状況に応じて必要な支援を行っている。看護師を配置し日常の健康管理、健康診断の受診、体調不良時の対応 就労施設との連携 (4) 施設の行事案内 年に2回(春)(秋)に季節に応じたレクリエーションの開催 利用者の意見を取り入れた外出(外食)の実施 (5) 近隣からの苦情 これまで苦情などはなく、今後も苦情、クレームが出ないように管理の徹底を行う。 (6) 事故ヒヤリハットの報告 令和7年11月15日入居者が所在不明の事故が発生する。発生日に発見される。要因分析を行い再発防止の為改善策をたて実施し、定期的に評価を行います。改善策を定期的に見直します。 又、完全個室のため、毎日の定時報告がない入居者は職員が訪問し、安否確認を行う。		

(7) アンケート結果、質疑応答

入居者は事前に回答してもらい、構成員へは当日回答してもらいました。

(入居者)

門限が早い。⇒安全面を考えると現在の門限が妥当と判断します。

買い物が不便。⇒交通手段が少ない為支援者が同行し外出の回数を増やす等の検討を行います

(構成員)

キレイにしている。

外灯があったら良い。⇒防犯の事も考え外灯を増やす様検討します

(意見・要望等)

入居者家族より

1人1人に合った支援をしてきているので助かっています。

トイレにウォシュレットを付けて欲しい。

区長より

地域での生活道や畑を一緒にやってみませんか

一緒にする事で地域の方との交流を深められると思います。

【今後について】

アンケート結果や不安や不便に感じている事を受け1人1人に寄り添い不安感を和らげ入居者の希望に近づける様努めて参ります。

協議内容・  
意見等